

サークル Circle クローズアップ 日・光・人 People 人



りゅうおう だいこ 龍王太鼓保存会

龍王太鼓保存会は、昭和47年12月に当時の藤原町青年団が、郷土芸能を創作し、地域の観光発展につなげることを目指して発足しました。

龍王太鼓は、鬼などの面を付けた一種異様な姿（下の写真参照）の男女7名が、代わる代わる太鼓の前に現れて演奏します。曲は地元で伝わる民話を基に構成されており、喜怒哀楽に応じ、時に激しく、時に悲しく太鼓を打ち鳴らします。特に鬼と龍王神の絡みの場面では、太鼓を荒々しく打ち鳴らし、一番の見せ場となっています。

会の活動内容を伺うと、「一番重要な行事は、名前の通り、毎年7月下旬に行われる龍王祭です。龍王峡で行われる神事では、五龍王神社の前で太鼓の演奏を奉納しています。基本的には

活動内容 龍王太鼓の披露

活動日 春から秋にかけて週1回程度の練習と、イベントなどに応じて随時

会員 13名
代表 伴瀬 一久
問い合わせ先 沼尾 鬼子造 ☎76-4112

鬼怒川・川治温泉を中心にして活動しています。平成18年の合併後は、市内各地域のイベントで披露する機会が増えました。市内だけではなく、県外や海外などさまざまな場所でも演奏させていただいています。中でも全国郷土芸能奉納で、県の代表として伊勢神宮で演奏させていただいたことは、非常に名誉なことだと思っています」と話してくれました。

また、龍王太鼓をやっている良かったことを伺うと、「少しでも市の観光発展に協力できていると思えることや、太鼓を通して仲間と年齢に関係なく付き合え、友達の輪が広がること」と皆さん話してくれました。

最後に今後の目標を聞くと、「何よりも龍王太鼓を継続していくことです。しかし、後継者が不足しています。龍王太鼓を演奏したい方は大歓迎です。で、ぜひご連絡ください。年齢・性別・住所・職業など問いませんし、会費も無料です」とのことでした。

興味のある方、ぜひ龍王太鼓に参加してみませんか。



龍王祭の神事における太鼓の演奏。

やまもと かずたか 山本 和孝 さん 所野 在住

日光地域でチエーンソーアートをしている山本和孝さんを紹介します。チエーンソーアートは、チエーンソーのみを使って丸太からさまざまな彫刻作品を作り出すものです。

キャンプ場で働きながら、ご自身の山林の間伐なども行っている山本さん。もともとは、売れない丸太を有効活用しようと、いすなどを作っていました。3年くらい前に「これならば形の凝ったものが作れる」と思い、独学でチエーンソーアートを始めたそうです。材料にはスギやヒノキを使用し、山本さんは主に動物や昆虫などの彫刻を制作してキャンプ場などに飾っています。

また、山本さんは「霧降を元気にする会」にも所属しています。その中で、霧降高原道路にチエーンソーアートで



作った道しるべの彫刻を設置する活動を鹿沼市の方と一緒にしています。この活動について「彫刻を設置することで霧降に少しでも多くの人が訪れてくれればうれしいですね。目標物の少ない道路なので、万が一事故にあつた時などには目印にもなるのではないかと思います」と山本さんは話してくれました。

チエーンソーアートの楽しさを「形のないところから作品を作ることです。自分がイメージしたとおりの作品ができて、それを見てくれた方が喜んでくれるとうれしいですね」と話す山本さん。最後に今後の目標を伺うと「いずれば、チエーンソーアートで制作した作品の個展を開きたいです」と答えてくれました。

霧降高原道路には、今年の夏までに木製彫刻が設置される予定です。細かいところまで丁寧に彫られた作品を、ぜひご覧になってください。



山本さんの彫刻作品「鷹」。

市民文芸

川柳 選者 山本都留米

おひな様賑わう街に華を添え

大堀満

給付金めぐり国会もめにもめ

岩崎松風

姿見に賞味期限を連呼され

櫻沢あき子

春一番吹けば浮かれる祭好き

篠原芳子

新製品やっと思えて古くなり

塚原トモエ

春と客明るい兆し雛の町

芳野起代子

俳句 選者 伊藤清

寒の夜半柱時計が刻みゆく

池田三夫

初詣法螺一山を突き抜けり

渡辺ミチ子

少しずつ少しずつだけ日脚伸び

福田美代子

賀客いま屋根の上なる親子猿

星野照子

寒星や深き眠りの子種石

名古屋佳月

雲の影よぎる流れや冬障子

岩澤遊子

短歌 選者 阿久津伸一

男体山の冠雪われの還暦を励ますごとく清らかに映ゆる 福田きく

元旦の朝日に映ゆる男体山の山容きびしわれも生きゆく 手塚賀子

牛膝着替えのシャツにつきており登に登りし城址の名残の 高橋暁美

初詣夢を託した柏手は拝殿奥に木霊し消ゆる 佐々木清市

店先の花かんざしの冷ゆる日をひらかむとする今ぞともしむ 福田勉

高台のなれにしわが家に日がさして枝手無くとも返す北風 湯沢登久栄

募集しています！

紹介したい方やサークルの情報をお寄せください。

※掲載にふさわしくない活動内容が含まれている場合、紹介をお断りすることがあります。

また、皆さんからの短歌・俳句・川柳の投稿作品もお待ちしております。氏名（ふりがな）、住所、電話番号を明記して、応募してください。

連絡先及びくわしくは
秘書広報課 広報広聴係
☎(21)5135・FAX(21)5109